



令和5年度  
第7回  
横浜市立大口台小学校  
学校運営協議会

《日 時》 令和6年2月22日（木） 16:00～

《場 所》 横浜市立大口台小学校 1階 家庭科室

<会次第>

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
|                     | 《進 行》 副校長    |
| 1 校長挨拶              | 校 長          |
| 2 委員長挨拶             | 委員長          |
| 3 令和5年度の報告          |              |
| (1) 令和5年度の学校経営について  | 校長           |
| (2) 大口台小学校重点研究について  | 研究主任         |
| (3) いじめ防止対策委員会報告    | 児童支援専任       |
| (4) 学校評価アンケート結果報告   | 教務副主任        |
| (5) 学校評価報告書         | 教務主任         |
| (6) 学校の様子           | 副校長          |
| (7) 学校地域協働活動事業報告    | 学校地域コーディネーター |
| (8) 令和6年度学校行事予定について | 教務主任         |
| 4 意見交換              |              |
| 5 閉会                | 副校長          |

# 1 令和5年度の学校経営について

今年度は5月からコロナが5類相当となり、インフルエンザと同様な感染防止対策を講じました。夏には熱中症対策を行いながら、教育活動を進めてきました。計画した年間行事予定は、予定通りに進める事ができ、ボランティアの力も加わって、宿泊体験学習などの校外学習も無事終えることができました。全校開催のスポーツフェスティバルは、地域のボランティアの協力もあり、午前中で行うことができました。練習時期に熱中症の心配があり、これ以上種目数を増やすことができませんでした。しかし、土曜日開催で、保護者の人数制限もなかったため大勢来校され、子どもたちを温かく応援してくださいました。音楽朝会では、学年ごとの発表を全校で鑑賞する時間を設けて、学年ごとのよさを見つけることができました。保護者の皆様にも参観していただき、子どもたちの合唱や合奏を通じて、子どもたちの成長を感じていただきました。12月の作品展では、保育園や盲特別支援学校、地域の素晴らしい作品を展示し、鑑賞することができました。月に1回は保護者が来校できる機会を予定しました。

学習においては、教職員が子ども一人ひとりを丁寧に対応し、わかりやすい授業づくりを心がけ、主体的で対話的な深い学びを目指して指導しました。また、人権教育では人権尊重の理念を基盤とし、ペア学年の取り組み、盲特別学校との交流や地域の方々の交流などを通じて、多様性を学び、相手を思いやる心を育み、子どもたちが安心して学校に通えるように環境づくりを行いました。また、横浜プログラムアセスメントを活用しながら、自己肯定感を高める学習を目指しました。全校の子どもたちは、授業でタブレット端末を使用し、色々な活用の方法を選択して、主体的に学べるようになりました。学習内容の理解が難しい子どもは、取り出しの学習教室スマイルルームで計画的に個別に学習しました。日本語の理解が難しい子どもは、国際教室で計画的に個別に学習しました。このように、見通しをもって個の課題に応じた学習を積み重ねた結果、学習内容を理解している子どもが増えました。

学校保健委員会の今年度のテーマは「病気に負けない丈夫な体をつくるゾウ。」で各学年各クラス目標を掲げて、校庭で運動したり、早寝早起きを心がけたり、手洗いをしっかりとするなどして健康管理にも気を付けてきました。今年度は70%の子どもたちが体力と知力の伸びを示すことができました。まだまだ課題はありますが、今年度の学校評価をもとに来年度に向けて改善していきたいと思っています。

学校から必要なことや変更などを知らせるために、学校だよりやマチコミメールを積極的に活用しました。今後も学校、家庭、地域と情報を共有して、ご理解・ご協力を得ながら教育活動を進めていきます。

## ○令和5年度入学式

新型コロナウイルスの感染防止対策を講じて、全ての教職員で1年生を迎えました。保護者の出席は2名と学校運営協議会の委員の皆様で執り行いました。

## ○学年指導体制

令和7年度から横浜市の小学校全体で実施される「教科分担制」を今年も導入しました。教科によって担任が入れ替わって授業しました。特に4年生～6年生で教科担任制を強化し、複数の教職員が子どもの指導を行うことで、多様化する子どもが安心して学校に登校できる環境づくりに努めました。担当学年の複数の教職員間で密に情報共有を行いました。(砂時計ノートを活用する。)

## ○安心・安全なまちづくり、学校づくり

安全・防犯・防災に関して、PTAスクールゾーン対策協議会を、7月13日(木)に開催しました。PTA校外委員の方々が通学路の安全点検報告や補修箇所の要望を伝え、関係機関の方が改善作業を進めました。(路面標示の再塗装、横断歩道の再塗装、停止線の再塗装、マンホール周辺の路面の陥没修繕など)

## ○学習環境整備

職員で分担して、学校施設点検を定期的に行い、早期の改善に努めました。安全に配慮し西門近くの

サクラの木など剪定・伐採を行いました。感染症対策では、換気に十分注意し、健康観察も毎日行ってきました。保護者もよく連絡をくださり、感謝しています。

保護者の同意のもと、取り出し形式で特別支援教室「スマイルルーム」の充実も図ることができました。参加した子どもたちは、自主性が出たり、成績が上がったりという成果もありました。

## ○スポーツフェスティバルの開催 10月21日(土)午前開催

赤、青、緑、黄色の4色に分けて、午前中全校で実施しました。保護者の方の制限は行いませんでした。優先席も設けました。学年ごとに色別のリストバンドをPTAの役員さんが作って配付しました。また、学校運営協議会の方々に参観していただきました。受付は、PTAの本部役員にお願いしました。校庭のライン引きや片付け等は、学校・地域コーディネーターの方々にお手伝いしていただきました。徒競走では全学年一人ひとりについて校長がレースとコースを伝え、呼名しました。

## ○1年生から3年生の遠足実施

1、2年生は貸し切りバス、3年生は電車を利用して、遠足を実施しました。

行先は1年生が11月16日「野毛山動物園」、2年生が11月9日「よこはまブルーシア」、3年生が11月8日「みなとみらいランドマーク方面」でした。

## ○4年生から6年生の宿泊体験学習実施

4年生と5年生は貸し切りバス、6年生は JR の貸し切り電車と貸し切りバスを利用し、宿泊体験学習を実施しました。4年生は6月6日から1泊2日「愛川ふれあいの村」で宮ヶ瀬ダム放水見学、キャンドルファイヤーなどを体験しました。5年生は9月12日から1泊2日「三浦半島」で農作物の収穫体験や海の磯体験、キャンプファイヤーなどを体験しました。6年生は7月10日から1泊2日「日光修学旅行」で、東照宮などの見学や天気が急変したハイキング、益子焼の絵付けを体験しました。全員の濡れた靴を旅館の方々が乾かしてくださったという人情にも触れ、深く感謝しました。

## ○令和5年度卒業式 3月19日(火)

式典の参加は5年生、卒業生と卒業生の保護者2名、全職員、学校運営協議会の皆様です。

## ○授業づくり

今年度の研究テーマは「自己肯定感をもてる子どもの育成」で、自己肯定感が高まっている姿に向けた手だての在り方について考え、横浜プログラムを活用した授業を研究しています。また、自己肯定感の高まりを捉えていく方法について教職員で共通理解して、ひとりも取り残されないように、持続可能なカリキュラムマネジメントを研究しています。特に今年度重点を置いて研究をしたのは、横浜プログラムを活用した授業です。子どもが何を学ぶのか单元ごと明確にし、学習計画を立てています。横浜市の教育ビジョン2030に掲げてあるように横浜の教育は「子どもが主体的に考え、学び続け、多様な人々や社会と関わり合うこと」を大切にしています。本校も横浜版学習指導要領の「総則」に示されている「主体的・対話的で深い学び」を目指して、人権尊重の教育を基盤にして授業改善を行い、教師の授業力向上に繋がりたいと思っています。子どもに個別に対応する特別支援も積極的に行っています。外国語活動として1年生からアシスタントイングリッシュティーチャーと一緒に英語でコミュニケーションをとる授業が行われています。(国で定められた授業時間数は確保しています。)

## ○国際教室の充実

今年度から国際理解教室を発足しました。外国につながる子どもや外国籍の子どもが増え、日本語のサポートが必要になっているため、日本語の学習を重点的に行っています。

## ○幼保小連携実践報告

1年生の児童が大口台小学校ブロックの保育園や幼稚園の年長の園児との交流を通して、架け橋プログラムを実践しました。自己肯定感を高められる活動を可能な限り計画的に実施しました。園児が小学校での運動会などの学習活動を共有し、小学校に入学する接続が円滑になるよう努めました。神奈川区の幼保小連携推進代表校3年目として大口台地区事業実践報告を子ども青少年局に提出しました。

## ○小中連携事業実践報告

# 大口台小学校ブロックの交流

【交流園】  
松見保育園、銀嶺幼稚園、京浜横浜幼稚園、白幡幼稚園、西寺尾保育園、白幡保育園、聖徳保育園

### 【実施内容】

〈子どもの交流〉 動画による音読劇交流(7月) 運動会練習見学(10月) 校内作品展出品・見学(12月)  
新春かるた大会・学校生活の紹介・園児のダンス発表(1月) 校内見学会(2月予定)  
生活科で育てたアサガオの種と手紙を園児にプレゼント(2月予定)  
〈職員の連携〉 推進委員会(4月) 小学校授業参観(6月・1月) 保育参観(7月) 打ち合わせ(随時)



運動会練習を見学する園児たち

「ダンスがじょうず! 1年生ってすごい!」  
「入学したら、ぼくたちも、こんなふうに練習するんだね。」

運動会練習の様子を見学することによって、小学校での活動の様子が分かりました。

「小学校でも運動会があるんだよ。入学したら、一緒に練習しようね。」

練習の休憩時間に1年生が顔見知りの園児に話しかけていました。



運動会練習見学の後、年長児に親しげに話しかけて交流する1年生

校内作品展では、1年生が優しく園児たちに、作品の見どころを伝えていました。園児たちは、1年生のお兄さんお姉さんと楽しそうに話していました。



校内作品展で1年生が年長児に自分の作品を紹介する様子

### 【ふりかえり】

今年度は交流3年目で活動にも慣れましたので、多くの園と交流しました。その中で1年生は園児との交流の中で心が育ち、年下の子に優しく接することができたように感じます。園児たちは何回か小学校に来ることによって、小学校の様子を知ることができ、安心感を得ることができました。職員間も何度か交流を重ねるうちに顔見知りになり、電話でも気軽に打ち合わせすることができるようになりました。小学校と幼稚園・保育園の職員同士がつながることがとても大切だと感じました。次年度以降も交流を続けていきたいと思っています。

中1ギャップを解消するために、6年生と神奈川中学校の生徒の交流や見学を実施しました。小中学校の職員間では夏に「保護者の対応や傾聴のしかた」の研修会にスクールカウンセラーをお迎えして行いました。教職員のコミュニケーション能力を高めるための研修となりました。

## ○働き方改革(学校教育の質を高められるような改善)

働き方改革プロジェクトチームを発足し、教職員の困っていることや課題について考えました。教職員の働き方改革につなげられるよう小さなことから積み上げるようにしました。今年度は書庫の書類の整理をしました。また、教職員の打合せを月曜日に設定しました。週始めに行うことで行事や活動の見通しを共有できるようにしました。さらに、会議等を火曜日に設定しました。月曜日に資料等の準備ができるようになり、休日に出勤がなくなることがねらいです。休日は教職員にゆっくり休んでストレス解消に繋げてほしいと考えています。朝会・集会・重点研究を金曜日にしました。金曜日は5校時とし、教職員の研究・研修や授業準備に活用しました。

年間計画と連携した「週案・月予定」や職員室のグループウェア「ミライム」の積極的な活用を進め、業務の見える化やペーパーレスを図っています。誰が(どの学年が)どのような活動をどこで何時から行うのか各自のパソコンや大型モニターに表示されます。全学年で「教科分担制」を行い、教材の準備の効率化にもつながり、授業の充実を図りました。

職員室業務アシスタントや非常勤職員の配置や確保、ボランティアの募集を引き続き積極的に行って、教職員の負担を軽減していきます。今年度のストレスチェックの結果も良好で、職員に報告しました。職

員の方々が楽しくやりがいを感じられる職場にしていきたいです。

## ■ 地域と連携した学校教育活動について

地域の皆様や地域学校協働本部の皆様にご支援やご協力いただき教育活動が充実していることや毎朝の見守り隊の方々に子どもたちが見守られて、安全に登校ができていることにととても感謝しております。引き続き、来年度もよろしく願いいたします。

今年度は、地域学校協働本部の方に周年記念式に卒業生のお話の方を斡旋していただいたり、1年生の給食補助のエプロン先生や体力テストの補助を募っていただいたりして支援していただきました。また、スポーツフェスティバルの当日準備や片付けをお手伝いしていただきました。3年生は人権教育[CAP]の学習、大口通り商店街でお店体験をさせていただきました。4年生は盲特別支援学校との交流の中で、学校探検や点字体験などをしました。12月の人権週間の全校朝会の時に盲特別支援学校の副校長先生より人権教育のお話をいただき、学びがたくさんありました。今後もみなさまのご協力のもとに持続可能な活動にしていきたいです。

- ・ 学校と地域が連携・協働して一体となって子どもを育てる仕組み
- ・ 学校と目標やビジョンを共有した応援団

## 大口台の地域の力と学校教育の一体化を目指します

- ・「学校運営の基本方針」の承認
- ・「連携・協働活動」を協議
- ・「学校関係者評価」の実施
- ・学校教育目標を理解
- ・地域と学校をつなぐ
- “子どもを育てる”視点

### 学校運営協議会の役割

学校をよりよくする役割。  
学校運営のPDCAサイクル全体にかかわる。

### 委員の役割

教育目標を共有して子どものためになることを考え、責任感と自覚をもつ。

### ○学校運営協議会設置校として4年目

- ・ 学校を支える仕組みの強化  
地域・保護者のみなさんと学校が目標を共有し、一定の権限と責任をもって学校運営に参画する仕組みです。
- ・ 委員構成…15名まで(①②③立場の異なる構成) 代理出席者はなし
  - ① 地域住民  
連合町内会長、地域防災担当、放課後キッズクラブ、主任児童委員・民生委員等
  - ② 保護者代表  
PTA 会長
  - ③ 学識経験者  
神奈川中学校長、盲特別支援学校長、外部有識者

## ○地域学校協働本部…地域と学校をつなぐ具体の姿

### ① 学習支援

- ・エプロン先生〔低学年；給食支援〕
- ・図書ボランティア ・体力テストの測定 ・アシスタントティーチャー等

### ② 安全支援

- ・登下校安全指導（見守り隊） ・学校環境整備等

### ③ 地域連携支援

- ・学校・地域防災（総合防災、避難所等）
- ・福祉教育（盲特別支援学校との交流ふれあい活動、地域の高齢者との交流（年賀状づくり））
- ・地域行事（地域交流まつり、神奈川中ふれあいコンサート等）
- ・キャリア教育・環境教育等の講師依頼等

## ■ 地域学校協働活動事業について

未来を担う子どもたちを健やかに育むために、学校・家庭・地域が連携・協働し、社会全体の教育力の向上に向けた取組の一層の推進を図ることを目的とします。

この本部の業務は、地域学校協働活動事業の実施に関して必要な業務全般です。

「地域学校協働本部」は既存の地域と学校の連携体制をもとにして、地域学校協働活動推進員（学校・地域コーディネーター）が中心となって緩やかなネットワークを形成し、より多くの幅広い地域のみなさんや団体等の参画によって地域学校協働活動を推進する体制です。

## ○学校・地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）の配置

学校とボランティアの連絡調整、学校と地域をつなぐ事業の企画や運営等の中心となる人材として、教育委員会が開催する養成講座を修了した学校・地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）を配置。（本校では、岡井委員、山本委員）

## ○地域学校協働本部の設置継続

今年度は委員長、庶務、会計の担当と役割分担を決めました。学校、地域、保護者、ボランティア、学校・地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）、自治会町内会や区民利用施設の関係者等で組織し、学校支援の内容について検討を行うとともに必要な事務経理を行うこと。（本校では、従前より活動の実態があります）

## ○学校支援ボランティア活動の実施

地域住民や保護者が、ボランティアとして地域学校協働を行う体制を整備し、地域学校協働活動を実施すること。

## ○地域、関係機関との連携・協働

地域、関係機関等で連携・協働して事業を進めること。

## ○広報啓発活動

地域の教育力の向上に資するための啓発活動や、学校・地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）の認知度を広く高めるための広報活動を行うこと。

## ○研修会への参加及び活動報告会での実施内容の報告

教育委員会が開催する研修会に参加すること。また、活動報告会において活動状況の報告・展示等

を行い、本事業に関する情報提供を行うこと。

## ○事業報告書の作成

指定様式の事業

## 2 令和5年度の研究成果と課題 来年度の方角性について

### 研究テーマ 自己肯定感をもてる子どもの育成 サブテーマ～自己肯定感が高まっている姿に向けた手立てのあり方～

昨年度までの研究では、体育や算数の教科の授業を通して、自己肯定感を高める手立てを多く学んできた。今年度は、横浜プログラムの実践を通して温かな学校風土をつくり、だれもが安心して自分の考えがもて、伝えあうことができる学習環境にすることで、子どもの自己肯定感が高められ、学力の向上につながるのではないかと考え研究を重ねてきた。

#### 〈教師同士で横浜プログラムを体験〉

子どもの気持ちを想像しながら、だれもが安心して参加でき、ねらうスキルが高まるような立てを話し合った。職員集団の自己肯定感アップにもつながった。

#### 〈横浜プログラムの指導プログラム実践〉

6観点18スキルをもとに「子どもの社会的スキル横浜プログラム」の「指導プログラム」を選び、実践した。（「学級風土チェック簡易版」の活用）これらのスキルは、これまでの大口台小の行ってきた研究の視点の「自己決定や他者との交流、自己受容」と重なり合っている。社会情動的コンピテンシーとも深く関係している。教科でせまるのであれば、資質・能力の3つの柱の「学びに向かう力、人間性」とも。

#### 〈定期的なY-P アセスメントの実施〉

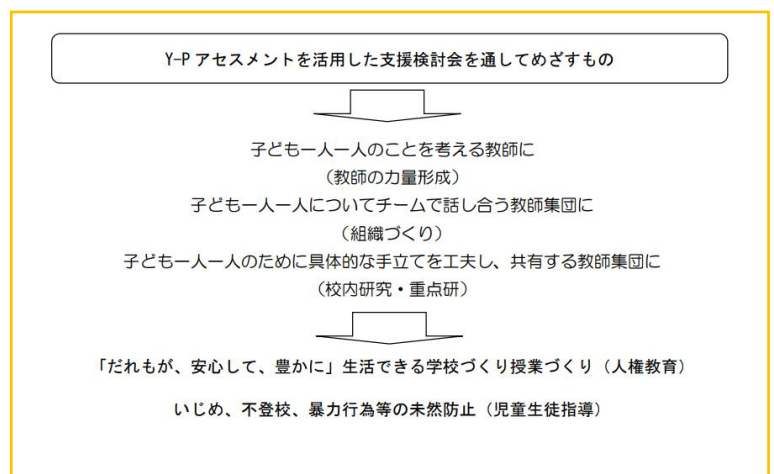
- ・「教師の見え方」と「子どもの感じ方」のズレに気づく。
- ・複数の教師の目で多面的に子どもを見ようとする。
- ・一人一人の子どもについて常に考えようとする教師になる。

また、抽出児童を設定し、1年間を通して児童の変容を見ることで、数値やエピソードで自己肯定感の高まりがみられるのではないかと検証した。

#### 〈横浜プログラムを活用した教科等の授業についての研修会〉

Y-P の考え方を取り入れた国語の授業を実際に体験し、子どもの気持ちを想像しながら効果的な支援とは何かを考えた。講師の先生から、今まで無意識にやってきたことを意識化させれば、より効果が高まるということを学んだ。

なによりも大きな成果は、この研究を通して、教師自身の人権意識の基盤が培われたことである。





ここで、大口台の自己肯定感って？…資料で復習。

児童の変容から見えた成果○と課題▲

### 成果

- 学級では Y-P を通して協調性が見られるようになった。
- 気持ちの切り替えができるようになった。
- 登校しぶりが見られたが、友達との関わりが増えていった。
- 友達がふえ、にこやかになってきた。
- 言葉のやり取りが増えてきたので、トラブルが減ってきた。
- 自分の気持ちを言葉で表現することができるようになってきた。
- コミュニケーション能力に課題がある子は、友達とコミュニケーションをとるきっかけとなった。
- 交流を通して人間関係が育ってきた。
- 高学年は、比較分布図としては、全体的に少しまとまってきている。よい傾向

こんな取り組みをし続けたため○○する子どもが増え～ができるようになった。

- 仲間づくりを重点的に行い、友達同士の関わりを楽しめる子どもが増えているように感じている。
- グルーブトーク的なプログラム小グループでの話し合いは子どもたちも楽しみながらできていた。
- 相手と気持ちを合わせるプログラムを多く行ったら、相手にたいして言葉を選びながら話そうとする子どもがふえた。
- 異学年の中で交流したことで、上級生として意欲が高まってきて、分布図上でも自己肯定感が上がっている。
- やくそくやルールを示したことで、Y-P では何を言っても大丈夫という安心感があり、自分に自信をもち友達同士のかわりが上手にできるようになった。

### 課題

- ▲子どもの変容、そもそも 1 年の一回目のアンケートはまだ子どもが理解できていない。
- ▲比較分布図上では、それほど大きな変化が見られない児童が多かった。
- ▲ぱれっとでは問題あり。
- ▲話し合い活動がスムーズになってきている。YP を行った成果なのか、はっきりと検証が難しい。
- ▲子どもたちも互いに受け入れる姿勢で話をすることができていたが、「YP のときは」という枕詞がついてしまう状態なので、明確な成果が見えにくい状態。
- ▲語彙が少なく、ふりかえりが深まらない。友達とのトラブルも多かったので、今後に向けて検討したい。

## 教師側の成果○と課題▲

### YP後の振り返りより

友達と拍手の数があったときに、うれしかった。

いろいろな人とペアになってやれたので、あまり仲良くなかった人ともやることできておもしろかった。

始める前に手を合わせて、目を見つめあってやることで、特別な感じがした。

なかなか揃わないペアを応援したり、励ましたりして、学年全体で心を合わせようとしている場面も見られた。

なかなか拍手が合わなかったときに、合わない人の気持ちが分かった。

まだすぐに仲良くなれたとは言えない。

### 成果

- Y-P プログラムを教師が実践し、子どもの気持ちになってみたことでどのような手立てが有効かの気付きがあった。
- Y-P アセスメントでは、クラスの分布図や個人プロフィールで子どもの自己肯定感の変化を数値で見ることができ、それをもとに支援の検討ができた。
- 抽出児のための支援を考えることは、他の子どもにとってもプラスとなった。
- 研究会の小グループで話し合ったことを共有できよかった。
- Y-P を通してその時間の中での変容も見ることができた。
- 重点で Y-P をやったので、今まで手探りでやっていたのが、わかりやすくてよかった。
- 授業を皆で見合うのは、やはり気付きや学びが多いなと思った。
- とても勉強になったので、もっと授業がみたい。
- 教師側も Y-P の進め方をしっかり理解して実施することができた。
- Y-P そのものの研究は今年度深められたので、各教科に Y-P の視点を入れたらいいと思った。

### 課題

- ▲ブロック研をもつはずが、やらず YP を練ったり成果を伝えたりすることができなかった。⇒やる。
- ▲行ったプログラムについてもっと話す時間があるとよい。砂時計タイムなどで軽い気持ちで話せたら。
- ▲継続することが大事だとおもうのですが、一年を通してカリキュラムや行事などやることが多い中で忙しくできなかった。⇒年間計画に位置付ける。
- ▲抽出児童について、具体的に記録に残していくことが大事。⇒紀要に向けてアセスメントシートや児童の行動から変容を見る。複数の教員の目でその子のエピソードを見る。3 回目の Y-P アンケート〈2 月 1 週目〉をとる。
- ▲事前研や授業後の話し合いが深まりにくかった。⇒講師に答えをききたい。

## 来年度の方向性

テーマについて

自己肯定感を変えるべきかという意見がありました…

☆「自己肯定感をもてる子どもの育成」は変更なし。

2022年度開始、2024年度終了の中期3カ年計画に拠るため。

サブテーマを変えるべきか⇒**教科が決まってから検討する。**

例) ~「できた」「わかった」が実感できる支援の在り方について~はどうか。

### 研究内容について

皆さんからのアンケート結果と推進委員で話題に出た（赤）こと

- Y-P のみの研究ではなく、**Y-P プログラムで学んだ視点を各教科に生かしていきたい。**
- 横浜プログラムを**活用した、教科の授業研究**
- 具体的には、教科の中に Y-P の視点を入れ込む。
- 授業の流れ、支援、学習課題、まとめ、振り返り、発問など教科の授業⇒**これまでの研究も生かせる。**
- 教科、行事等を通して自己肯定感を高めさせたい。⇒**やり遂げたからこそその高学年の今の姿**
- Y-P で得たデータを分析し、教科指導に生かす研究
- 研究テーマについて、「自己肯定感」幅が広い。**教科の研究に戻して、手立て的な部分で今年度の研究を取り入れていけば良いのではないか。**
- 日常の教科指導の中で自己肯定感が高まる場を設定していく必要がある。**

↳ **行事や学級経営の中にも Y-P の視点があり、その中の1つが授業**

☆これまでの研究を生かし、横浜プログラムを活用した教科の授業研究とする。

### 3 令和5年度 大口台小学校いじめ防止対策委員会等 報告

月日	取組内容	
4月 4日 (火)	○いじめ防止基本方針について全職員で共通理解 ○児童の情報について各学年で引継ぎ ○年間計画と重点指導内容の確認・引継ぎ、いじめの定義の確認	・情報共有
4月14日 (金)	いじめ防止対策委員会 定例会	・情報共有 ・支援策検討
5月11日 (木) 5月12日 (金)	保護者教育相談	
5月19日 (金)	いじめ防止対策委員会 定例会	・情報共有 ・支援策検討
5月22日 (月) ～ 26日 (金)	○第1回いじめアンケート実施	・実態把握 ・具体的な対応策の検討 ・課題と成果の洗い出し
5月22日 (月)～ 6月23日 (金)	○アンケートをもとに児童と担任で教育相談	・実態把握 ・支援策検討
6月 1日 (木) ～16日 (金)	○第1回子どもの社会的スキル横浜プログラムによる学校生活アンケート実施	・実態把握
6月16日 (金)	いじめ防止対策委員会 定例会	・情報共有 ・支援策検討
7月 7日 (金)	いじめ防止対策委員会 定例会	・情報共有 ・支援策検討
7月24日 (月)	○Y-P研修 支援検討会	・集約結果をもとに児童の実態に応じた支援を検討
9月 8日 (金)	いじめ防止対策委員会 定例会	・情報共有 ・支援策検討
9月22日 (金) 9月25日 (月) 9月26日 (火) 9月28日 (木) 9月29日 (金)	○個人面談	・実態把握
10月13日 (金)	いじめ防止対策委員会 定例会	・情報共有 ・支援策検討
10月24日 (火)～ 27日 (金)	○第2回いじめアンケート実施	・実態把握 ・具体的な対応策の検討 ・課題と成果の洗い出し
11月10日 (金)	○第2回子どもの社会的スキル横	・実態把握

～17日(金)	浜 プログラムによる学校生活アンケート実施	
11月17日(金)	いじめ防止対策委員会 定例会	・情報共有 ・支援策検討
11月 6日(月) ～27日(水)	○アンケートをもとに児童と担任 の教育相談	・実態把握 ・支援策検討
12月	○いじめ解決一斉キャンペーン (人権週間) 各学年で人権教育を実施	・取組を学校だよりで発信
12月 7日(木)	いじめ防止対策委員会 定例会	・情報共有 ・支援策検討
12月 8日(金) 12月11日(月) 12月12日(火) 12月14日(木) 12月15日(金)	○個人面談	・実態把握
12月15日(金)	いじめ防止対策委員会 定例会	・情報共有 ・支援策検討
1月12日(金)	いじめ防止対策委員会 定例会 ○いじめアンケートの結果・本校の 傾向の分析・ 来年度に向けての取組検討 ○いじめ防止対策の点検・見直し	・情報共有 ・支援策検討
2月 9日(金)	いじめ防止対策委員会 定例会	・情報共有 ・支援策検討
2月 5日(月) ～9日(金)	○第3回子どもの社会的スキル横浜 プログラムによる学校生活アンケート実施	・実態把握
2月13日(火)	○研修 支援検討会(予定)	・課題と成果の洗い出し ・来年度への引継準備
3月 7日(木)	いじめ防止対策委員会 定例会(予定)	・情報共有 ・支援策検討
随時	いじめ防止対策委員会	

★R5 11月アンケートの傾向

- ①自分の気持ちを適切に表現することができず、端的に暴言・暴力で示してしまう。
- ②友達の気持ちに気づかずに過剰にちょっかいを出し、返り討ちにあうという傾向も多い。
- ③物を隠すなど、誰が行ったのか分からない事案が複数回あった。
- ④友達からされて困っていることを言えずに、ためてしまい、我慢している児童がいる。
- ⑤公園や登下校中など、大人の目のない場でのトラブルが多い。



★学校としての対応の方針 令和5年度後半に向けて

- ・伝える側の表現力も必要だが、聞く側も相手が何を言いたいのか考えながら聞く姿勢の大切さを指導する。
- ・相手の言動に過剰に落ち込むことがないように、多少のことはくじけずにスルーするなど、レジリエンスを身に付けられるようにする。
- ・年間を通して、日常的に SST の活動を取り入れていき、ある状況について、どのように行動したらよいのか考え、友達と共有していくことで、自分事に落とし込む機会を設ける。
- ・困っていることを抱え込まないように SOS の出し方について、普段から声をかけていく。

## 4 令和5年度 大口台小学校 学校評価報告

今年度の保護者による学校評価アンケートの集計結果の分析と、それに基づく今後に向けての方策や方向性を報告いたします。

### 【1学年】

学習面では、理解が早い児童が多かったため発展的な学習に取り組むことができました。また、基礎的な学習に遅れのある児童には具体物を用いて一つ一つ確認しながら進めました。ペアやグループ学習がよくできていて、発表の場面を多く取り入れたので、自分の考えを伝えることができました。学校生活に慣れた後期以降には、タブレット端末の使い方を学び、児童が写真を撮影したり、絵を描いたりして、ロイロノート上に提出できるようになりました。保護者の皆様には、毎日の家庭学習へのご協力をいただきましたが、そのおかげで、児童の基礎学力が定着し、学習習慣が身に付きました。

生活面では、横浜プログラムや道徳を通して児童同士、認め合ったり交流しあったりして、お互いを深く理解することができました。仲間と一緒に目的意識をもち、お互いに高め合って学校生活を送っています。これからも、思いやりの気持ちをもち、みんなで協力して生活していけるように声掛けを続けていきます。

### 【2学年】

学習面では、まず自分の考えがもてるよう、日常生活の場面と結び付けたり具体物を用いたりすることを心掛けました。その後は、友達の考えを知る活動を通して理解を深められるよう、集団学習の基礎を学ぶ機会を設けたりタブレット端末を活用したりしました。一人ひとりにあった学習を通して「できる」、魅力ある学習活動で「楽しい」、発展的な内容で「もっとやりたい」を増やしています。友達同士で学習を教えあう場面も設定しています。

生活面では、横浜プログラムやグループ活動に力を入れ、友達との学びの機会を増やしました。相談し合ったり、考えをまとめたり、クラスや保護者に報告したりと、集団意識が高まってきたと感じています。また、昨年度に続き、まず教員が子どもたちのよいところを見つけ、伝えることを意識してきました。それが児童同士の認め合いにもつながり、自分のよいところに気付くことができました。これからも、いろいろなことに進んでチャレンジしていけるように声をかけていきます。

### 【3学年】

学習面では、これまでの学習を基にしながら「新しい学び」は何かを考え、新しい知識・技能を獲得する学習を大切にしました。そして、朝モジュールや家庭学習等で、基礎基本の定着を図るよう努めました。また、身に付けた知識・技能を活かして表現したり、他教科や生活場面でも学びを活用していることを意識付けたりするようになってきました。互いの意見や思いを発表やロイロノートで共有する機会を多くもち、学習の場面でも自己理解や他者理解を深め、違いを認め合うことができるようにしています。

生活面では、横浜プログラムや道徳科の授業を通して、互いに気持ちよく過ごすためにどのような気持ちや言動が大切かを考える機会を多くもつようにしました。相手を思いやり、相手の思いを受け入れる姿が多く見られるようになりました。また、場面に応じて自分がどうすべきかを考え、自己決定できるようにも促してきました。指示を待つだけでなく、自分で考えたり友達と相談したりしながら、適切に行動する姿が見られるようになってきました。

### 【4学年】

学習面では、基礎基本の定着を図るために、丁寧に計算の仕方を指導したり、文章の読み取り方を確認したりしてきました。また、算数科では、教師二人体制でよりきめ細かく学習支援ができるよう努めました。児童同士でも、解き方を説明しあったり、自分の考えを伝え合ったりする活動を取り入れてきました。ICT機器を使用する場面を数多く設定し、児童が進んで調べ学習を行ったり、調べたことをまとめたりすることができるようになってきました。

生活面では、学年や学級全体で活動する際には、あたたかい言葉かけが多く、穏やかに過ごすこ

とができました。総合的な学習の時間に盲特別支援学校との交流を行ったことで、他者を思いやる気持ちが芽生えてきました。その一方で、言葉が足りず相手にうまく気持ちを伝えられない場面もあり、その都度気持ちを聞き取り整理して、相手に伝える方法を一緒に考えてきました。

### 【5学年】

学習面では、一人一人を丁寧に見取りながら、分かりやすい授業づくりをするよう心がけました。国語と算数の授業を教科担当制とし、準備にかかる時間を捻出できるようにしました。国語では、特に書くことに苦手意識がある児童が進んで課題に取り組めるようにタブレット端末を積極的に活用しました。また、友達同士で発表したり、ふりかえりをしたりすることにも活用し、学習を深めるために役立てることができました。5年生の算数の学習は、前年度までの学習をもとにした発展的な学習内容となっています。いろいろな児童に対応できるよう、教師二人体制で授業を行い、実態に応じてスモールステップで指導を行いました。

自分の思いを素直に表現できる児童が多い学年であると感じています。学校内でも外でも、友達同士よく遊んだり、話したり、多くの時間を一緒に過ごすことで、自然と仲が深まっています。児童同士で助け合ったり、アドバイスし合ったりする姿が多々見られます。

### 【6学年】

小学校生活最後となる大切な一年を充実させられるよう、児童の活躍の場を設け、様々な活動に取り組んできました。

学習面では一人ひとりを丁寧に見取りながら、分かりやすい授業づくりを心がけました。また、友達と教え合ったり伝え合ったりする時間を多く設定しました。今後も、個々の実態に応じたスモールステップの学習や、得意を伸ばせる場面の設定などを意識し、より充実した学習になるよう努めていきます。

タブレット端末は、各教科で活用しています。国語や社会では図表を用いてレポートを作成したり、体育では撮影した動画を参考にふりかえりをするなど、学習を深めるために役立てています。また、教師の見守りのもと、児童間の通信も活用して互いの考えを共有し、認め合う場面に生かしています。

生活面では、委員会やクラブ活動、1年生とのペア活動などを通して、最高学年として下級生の手本になりたいという姿が見られました。一方で、人間関係や学習面での不安も大きくなる時期です。ご家庭と連携しながら、児童に寄り添い、支援していけるよう努めていきます。

また、スマートフォンやタブレット端末を家庭でも使用している児童が増え、トラブルが見られたので、学年で使い方講座を行いました。今後も情報モラルについていねいに指導してまいります。ご家庭でもルールの確認や使い方のチェックをお願いします。

### 【全校】

今年度も昨年度同様、アンケートの対象を保護者と4年生以上の児童、教職員とし、三者の回答を比較することで、さらに課題について見えやすくなるようにしました。全体的にはどの項目も肯定的な回答が多く、教育活動についてご理解をいただけていることが分かりました。いただいたコメントにも、そのような意見が多く、学校としても大きな力をいただきました。ありがとうございます。その中でも顕著な傾向が見られた設問は次の通りです。

設問「学習に対する理解」については、三者とも肯定的でした。今年度も、スマイルルーム（取り出しの学習指導）では、担当教員を配置し、同じ困り感をもつ児童をグルーピングして指導するなど枠の増設ができるようにしました。特に児童の回答の中で「あてはまる」が60%と多くの児童が学習内容を理解していると感じているようでした。

また、設問「工夫した楽しい授業」については、昨年度同様に児童の「あてはまる」という回答が職員や保護者を大きく上回る結果となりました。今後も、教職員一同自信をもって、子どもたちが意欲的に学習に取り組んでいけるように授業改善に努めます。

設問「教員への相談のしやすさ」については、児童と保護者の肯定的な回答が昨年度よりも多くなりました。今年度は昨年度よりも教育相談の回数を増やし、児童の悩みに受け止められるようにしました。また、教職員で児童理解研修を行い、児童に寄り添うことができるようにしました。

設問「進んであいさつ」については保護者や職員が思っている以上に児童はできていると感じているようです。今年度も、運営委員会が企画し、各クラスの児童があいさつ運動に参加するようになりました。その姿を見て児童自身があいさつをできているという自覚をもつことができていると感じています。生活のめあてを設定し振り返りをするなどして、互いに心が通じ合えるあいさつに



ついて児童自身が考え、めあてをもって取り組めるような学習を取り入れました。

情報モラル・ICT機器の活用・人権指導・いじめや差別への対応については、保護者が「よく分からない」との回答が多く見られたので、授業参観やおたより、ホームページ等で取組をお伝えしていけるようにしていきます。

**保護者による学校評価アンケート（ご質問・ご要望）に対する回答をします。**

ご家庭からのご意見とご提案	学校の対応と回答
<p>授業の進みが悪いことがあるようなので出来る限りでいいのですが同じようにすることはできないのでしょうか。うるさかったりして注意することも必要ですが授業はきちんと進めて欲しい。そのために教員を増やしたりすることが出来ればとは思っています。</p>	<p>同じ学年でも理解度の違いや、児童の興味によって進み方の違いはあるかと思いますが、大きな差にならないように学年で進度を確認していきます。教員の加配については教育委員会に依頼しています。</p>
<p>遠足や社会科見学の際の交通手段について。貸切バスでの移動だけではなく、場合に応じて、公共交通機関を利用する方法も是非、ご検討頂けたらと思います。引率の先生方の負担は増えるかもしれませんが、守るべきマナーやルールなど、学びは多いのではないかと存じます。</p>	<p>人数や発達段階、行先に応じて電車などの公共交通機関を利用しています。マナーについては遠足や校外学習だけでなく、家庭で一緒に考えていただくことも大事であると感じています。ご家庭で利用される際にも話題にさせていただけたらと思います。</p>
<p>今、連絡帳が2冊になっていますが、当初のまま1冊にした方が、荷物も減り、次の日の持ち物もわかりやすい。</p>	<p>児童が時間割や振り返りを書く連絡帳だけにします。保護者からの連絡事項は来年度から運用される横浜市で共通のシステム「すぐーる」で伝えることとなります。</p>
<p>感染症対策が緩和されているはずなので、子ども同士が関わる事ができる場をできるだけ復活させてほしいです。例えば今の4年生は小学校で給食をグループでワイワイ食べるという経験をすることがない世代です。先生方の手間は増えるかもしれませんが、グループで顔を見ながらおしゃべりする給食は貴重な時間だと思います。</p>	<p>感染症対策のための制限は現在行っておりません。授業や休み時間での児童のかかわりをコロナ禍以前に戻しています。給食をグループで食べることについてはコロナ禍の経験からまだまだ対面での食事に苦手意識や不安を抱えている児童もいます。各クラスの実態に合わせて担任が決めています。</p>
<p>オープンスクールなど、子どもの学校での様子がわかる機会を取り入れてほしい。</p>	<p>学校ホームページの更新頻度をあげ、学校生活での児童の様子が分かるようにしていきたいと思っています。また、月一回は授業参観や面談などで保護者の方が学校に足を運ぶ機会を設けます。</p>
<p>お知らせは紙ではなくマチコミ等WEBでおこなってほしい。</p>	<p>来年度より「すぐーる」を使用し、お知らせなどを配信することとなります。学校に提出するものはお知らせの配信と紙の配付の両方を行う予定です。</p>
<p>※行事についても様々なご意見をいただきました。</p>	<p>運動会の午前中開催や音楽会を行わないことなどは、児童の体調や行事の準備に追われることなく落ち着いた学校生活を送ることを考慮して決定しています。また、行事については毎年見直しをしていきます。</p>

\*裏面に市教育委員会に提出する「学校評価報告書」（全市共通様式）を掲載します。

事前に「小中一貫ブロック」での相互評価、「学校運営協議会」による関係者評価を行い、確認を得ています。

\*学校評価結果につきましては、学校ホームページにも掲載します。その他のご意見についても校内で検討を進めていきたいと思っています。貴重なご意見をありがとうございました。

# 6 教育活動の具体的な取組

## 〇日々の活動の様子 ～学校ホームページから～

### 入学おめでとうございます



4月7日(金)に大口台小学校に新しい仲間が増えました。緊張気味ですが、55名の1年生が元気に入学してきました。返事がしっかりとでき、先生の話もよく聞いていました。

登録日: 2023年4月7日 / 更新日: 2023年4月7日

### 大口台小学校へようこそ



4月21日(金)に1年生を迎える会を行いました。「各学年からのプレゼント贈呈」と「1年生の紹介ムービーの上映」などをしました。その後、1年生が2年生から6年生の教室前を通り、歓迎されました。早く学校に慣れてほしいと思います。

登録日: 2023年4月21日 / 更新日: 2023年4月21日

### 第68回創立記念式



4月28日(金)は、大口台小学校の創立記念日です。4年生が大口台小学校の歴史を調べ、全校児童に発表しました。また、本校卒業生の方を招いて、当時の学校やまちの様子を講演していただきました。

### エプロン先生、ありがとうございました。



4月12日～5月12日まで、1年生の給食準備や後片付けをサポートしていただくために、エプロン先生にお手伝いをしていただきました。来週からは自分たちで協力して給食準備や後片付けを行います。多くの方がエプロン先生に参加していただきました。ありがとうございました。

登録日: 2023年5月12日 / 更新日: 2023年5月12日

### 地域交流まつり



5月14日(日)に大公園(ハト公園)で地域交流まつりが開催され、6年生の有志が参加しました。ソーラン節を発表し、大に会場を盛り上げました。子ども達が笑顔で演技しているのが印象的でした。

登録日: 2023年5月15日 / 更新日: 2023年5月15日

### 体力テスト



晴天の中、体力テストを行いました。上級生が下級生に運動の行い方を丁寧に教えてあげながら、測定しました。PTAや地域の方にお手伝いいただきました。

登録日: 2023年5月16日 / 更新日: 2023年5月16日

### 4年生 愛川宿泊体験学習



6月6日(火)・7日(水)に、4年生は愛川宿泊体験学習を行いました。初めての宿泊体験ということもあり、始める前から楽しみにしている様子が見えましたが、2日間の体験を通して、みんなで力を合わせて成し遂げることの喜びや楽しさを味わうことができたと思います。よい思い出ができた2日間でした。

登録日: 2023年6月8日 / 更新日: 2023年6月8日

### 多くの方に見守られています



6月9日(金)の朝会で見守り隊の方を招き、全校でご挨拶しました。みんなが安全に登下校できるために、多くの方に見守られていることがわかりました。

登録日: 2023年6月18日 / 更新日: 2023年6月18日

### 全校集会



6月30日(金)に3年ぶりに全校集会を体育館で行いました。ニコニコ委員会が〇×クイズを考え、問題に答えました。参加した児童から「学校のことをたくさん知ることができた。」「クイズに答えるのが楽しかった。」という感想が出ていました。

登録日: 2023年6月30日 / 更新日: 2023年6月30日

### 6年生 日光修学旅行



7月10日(月)～7月11日(火)の2日間、6年生は日光へ修学旅行に行きました。戦場ヶ原ハイキングでは、急な雨に遭いましたが、それも良い思い出になったようです。また、日光の歴史的建造物を見学し、当時の権力者の力の強さを実感することができました。6年生の仲を深める2日間になりました。

登録日: 2023年7月13日 / 更新日: 2023年7月13日

### 横浜ごも会議

7月21日(金)と22日(土)に、運営委員会の6年生が横浜ごも会議に参加してきました。令和5年度横浜ごも会議のテーマは「つながる、広げる、いじめ未然防止の輪」へいじめをなくすために、一人ひとりができること」です。そのテーマに沿って、大口台小学校ではどんな取り組みをしているか、今後のような活動ができるか話し合っていました。

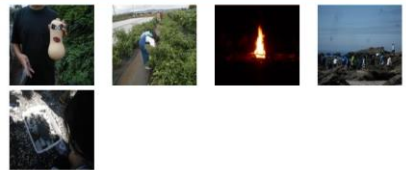
7月には、神奈川県中学校ブロックで話し合い、各校の取り組みについて報告し、神奈川県中学校ブロックのテーマ「伝えよう、わたしたちの交流でつながる異業の輪」を決定しました。

8月には、神奈川県立の会館に参観し、他のブロックの取り組みについて聴いたり、今後の活動について話し合ったりしました。運営委員会では、話し合いの進捗をさらに進めるために「話し合う輪」の活動を成し遂げようとしています。また、「どのようなことがいじめの」「どうしたら防げるか」を自分たちでもちと話し合いたいようです。会議の内容を全校に報告したり、5・6年生で話し合っただけでなく、子どもたちと一緒にいじめのない学校を目指していきます。



登録日: 2023年9月4日 / 更新日: 2023年9月4日

### 5年 三浦宿泊体験学習

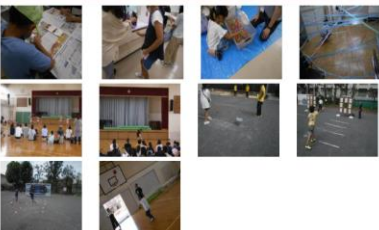


9月12日(火)～9月13日(水)、5年生は三浦宿泊体験学習を行いました。天気に恵まれ、予定していたプログラムをすべて無事にすることができました。1日目は、農業体験やウォークラリー、キャンプファイター。2日目は磯遊びをし、三浦の自然を堪能しました。また、4年生の宿泊体験の経験を活かし、自主的に行動する姿が見られました。

大きく成長し、友情を深めることができた2日間でした。

登録日: 2023年9月15日 / 更新日: 2023年9月15日

### くちっこまつり



9月24日(日)4年ぶりにPTA主催のくちっこまつりが大口台小学校で行われました。多くの方が来校しました。ゲームや体験コーナーなど、大いに盛り上がりしました。

登録日: 2023年9月25日 / 更新日: 2023年9月25日

### ふれあいコンサート



10月7日(土)、神奈川県立で「令和5年度学校・家庭・地域連携事業 ふれあいコンサート・レク交流会」に参加しました。大口台小学校3～5年生有志と白幡小学校3年生、神奈川県立学生会・吹奏楽部が参加しました。大口台小学校は3曲歌い、とてもきれいなハーモニーが会場につつまれていました。各校の発表も素晴らしい、ほっこりした時間になりました。神奈川県立学生会のレクも楽しく参加していました。

登録日: 2023年10月10日 / 更新日: 2023年10月10日

### スポーツフェスティバル2023

10月21日(土)にスポーツフェスティバル2023を開催しました。保護者の入場制限を撤廃し、たくさんの方にご参加いただきました。一人ひとりが全力を出し、笑顔と感動あふれるスポーツフェスティバルになりました。



## 4・5組 サツマイモ収穫祭



11月1日(水)、4・5組はサツマイモの収穫を行いました。みんなで協力して育て、立派なサツマイモが収穫できました。サツマイモを傷つけないように丁寧に収穫しているのが印象的でした。

登録日: 2023年11月1日 / 更新日: 2023年11月1日

## 3年 遠足



11月8日(水)に3年生はみなとみらい遠足に行きました。天気も良く、絶好の遠足日和でした。みなとみらい地区の散歩、横浜みなとみらい博物館と日本丸の見学、ランドマークタワー展望フロア見学を行いました。見学マナーや電車の乗車マナーを意識した行動が見られました。

登録日: 2023年11月8日 / 更新日: 2023年11月8日

## 2年生 スーラシア動物園遠足



11月9日(木)に2年生はスーラシア動物園に遠足に行きました。今年は、象のバックヤード見学ができました。盲点見ることができない象のエサの保管場所や寝る部屋を見学しました。その後、グループで動物園を見学しました。みんな仲良く行動でき、とても立派でした。

登録日: 2023年11月9日 / 更新日: 2023年11月9日

## 6年生 放射線に関する出前授業



11月10日(金)に6年生は、放射線に関する出前授業に参加しました。放射線に関する正しい知識を得るために、実演を通して学びました。

登録日: 2023年11月10日 / 更新日: 2023年11月10日

## 2年生 食育キャラバン



11月10日(金)に2年生は食育キャラバンに参加しました。横店マリノスの方が来校し、サッカーや食の大切さを教えていただきました。

登録日: 2023年11月10日 / 更新日: 2023年11月10日

## 1年 遠足



11月16日(木)、1年生は野山動物園に遠足に行きました。小学校になって初めての遠足でした。マナーを守って、仲良く活動することができました。

登録日: 2023年11月16日 / 更新日: 2023年11月16日

## 6年 音楽朝会



11月17日(金)、6年生の音楽朝会を開きました。「かっこよく演奏したい」と目標をもち、演奏しました。6年生の思いが一つになった演奏でした。さすが6年生!

登録日: 2023年11月17日 / 更新日: 2023年11月17日

## 3年生 神奈川区音楽会



11月21日(火)、3年生は神奈川区音楽会に参加しました。リコーダー奏と合唱を発表し、2部合唱に挑戦しました。スボエスが終わってから本格的に練習を始め、当日は今までで一番よい発表になりました。「みんなの音が重なって楽しかった。」と感想をもち子どもがいました。音楽に触れた充実した時間を過ごすことができました。

登録日: 2023年11月21日 / 更新日: 2023年11月21日

## 5年生 区球技大会



11月22日(水)、5年生は神奈川区球技大会に参加しました。天気が良く、西寺尾小学校5年生の児童と仲よく交流しました。練習の成果を発揮し、全力を出し切ってプレーできました。また、勝敗に関係なく応援しあうことができ、お互いを尊重し合うことができました。

登録日: 2023年11月24日 / 更新日: 2023年11月24日

## 3年生 お店体験



11月下旬から12月初旬にかけて、3年生は大口商店街でお店体験を行いました。商店街で働く人の様々な工夫や努力を理解するとともに、商店と地域との密接なつながりについて感じることができました。保護者の方にも、たくさん来ていただきました。

登録日: 2023年12月4日 / 更新日: 2023年12月4日

## 校内作品展



## 4年 盲特別支援学校との交流会



12月19日(火)、4年生は盲特別支援学校のみなさんと交流会を行いました。自己紹介をした後、4年生が考えたゲームをして交流しました。今年度になって3回目の交流会でした。お互いのことをもっと知る機会になったと思います。

登録日: 2023年12月19日 / 更新日: 2023年12月19日

## 書初め大会



1月10日から全校で書初め大会を行っています。1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆で書初めに取り組みます。子ども達は、新年への思いを新たにしながら、書初めに取り組んでいます。作品は、教室前に掲示されます。1月19日の授業参観の際、是非ご覧になってください。

登録日: 2024年1月10日 / 更新日: 2024年1月10日

## 手洗いグランプリ



1月15日から、保健委員会が主催の手洗いグランプリを開催しています。ブラックライトに手を当てて、しっかりと手洗いができているかを確認します。病気の予防のためにも、手洗いをしっかりと行ってほしいと思います。

登録日: 2024年1月16日 / 更新日: 2024年1月16日

## 幼保小 新春かるた大会



1月24日(火)に近隣の園児を招待し、1年生と交流しました。1年生は楽しいかるた大会ができました。園児が楽しめるように、優しく声をかけている姿が見られました。

登録日: 2024年1月25日 / 更新日: 2024年1月25日

## 給食週間



1月24日(水)から、給食週間が始まりました。「給食委員会が主催の給食スタンプラリー」や「調理員さんへのメッセージや寄せ書き」を行います。食への興味や理解を深めてほしいと思います。

登録日: 2024年1月25日 / 更新日: 2024年1月25日

## 見守り隊 感謝の会



2月2日(金)、見守り隊の方の感謝の会を開きました。見守り隊の方々の話を聞いて、自分たちが安心して登校できることを実感しました。今回来ていただいた方以外にも、多くの方に見守らせて登校しています。日頃から、登下校を見守ってください、ありがとうございます。

登録日: 2024年2月2日 / 更新日: 2024年2月2日

## 交通安全教室



5月26日(金)に1年生と4年生が交通安全教室に参加しました。1年生は安全な歩き方を、4年生は自転車の安全な乗り方を学習しました。交通ルールを守り、死傷を予防して、安全第一で過ごしてほしいと思います。

登録日: 2023年5月26日 / 更新日: 2023年5月26日

## 7 学校地域協働活動事業報告

4月 ようこそ先輩講師紹介（本校卒業生）

エプロン先生

5月 体力測定 測定員

10月 運動会補助